卒業生アンケート
聴覚支援学校はどんな学校ですか？

過年度の卒業生に、次の４つを質問しました。

1. 入学のきっかけ　3. 部活動
2. 思い出　4. 学んでよかったこと



平成29年度卒業　赤坂さん

1　入学のきっかけ、専攻科に進んだ理由

中学部から聾学校（現秋田県立聴覚支援学校）に入学し、専攻科まで学びました。「中学生になると勉強内容が難しくなり、学習が遅れるのではないか」と親が心配し、相談して聾学校に行くことを決めました。最初は不安だらけでしたが、私が小さい頃から知っている先輩と再会し、気持ちが少し楽になったのを覚えています。

高等部では普通科で学び、専攻科では情報デザイン科の情報ビジネスコースに進学しました。専攻科に進んだ理由としては、事務の仕事に就きたいと考えたからです。実際に今は事務職に就いています。

2　在学時の思い出

高等部入学時に中学校から入学してきた仲間が４人も増え、６人のクラスになったことが１番の思い出です。たわいもない会話で盛り上がり、そこから会話の幅が広がったと感じています。たまにけんかもありましたが、修学旅行に行ったこともよい思い出です。

3　部活動で得たこと

卓球部で学んだことは、「あきらめないこと」。試合中に「負けるかもしれない…」と気持ちであきらめてしまうと、表情が顔に出てしまいます。その表情を相手に悟られると、プレーが崩れてしまうので、最後まであきらめない気持ちをもつことが大切だと感じました。

4　高等部で学んでよかったこと、仕事をする上で役立っていること

高等部で学んでよかったことは、言葉の使い方を学ぶことができたことです。特に専攻科では、メールの練習をする機会が多くあり、会社に入ってから、メールでのやり取りをする際に生かすことができました。

また、職場では自分が年下なので、いい人間関係を築くためには、目上の方に対して正しい言葉遣いをすることが大切だと思っています。